

2018年度

関西大学博物館実習展

関西大学博物館実習展

田畏おそれの姿
江戸時代の人々の視点

2018年
11月11日(日)～16日(金)

開催時間 午前10時～午後4時
場所 関西大学博物館 特別展示室(簡文館内)
入館料 無料

一、四、五『新村出の鳥』新村出 北田孝典文庫(個人蔵)より一冊
二、三『阿弥草紙』安永巻(関西大学蔵書)より一冊

20世紀以降における
文具ともののハナリ

2018年度
関西大学博物館実習展

2018年 11月11日(日)⇒11月16日(金)

【開館時間】10:00～16:00
【会場】関西大学博物館 特別展示室(簡文館内)
【入館料】無料 【アクセス】阪急開大前駅より徒歩10分

関西大学
博物館実習展
キリシタン班

茨木の潜伏キリシタン
ザビエル像発見のエピソード

2018年
11/11(日)～11/16(金)

関西大学博物館 特別展示室(簡文館内)
開館10時～16時 入館無料

『聖フランシスコ・ザビエル像』
神戸市立博物館蔵

二〇一八年度関西大学博物館実習展

食い龍おれ
近世から現代へ

2018年11月11日(日)～11月16日(金)

開館時間 10:00～16:00
場所 関西大学博物館特別展示室(簡文館内)
入館料 無料

11月11日(日)～11月16日(金) 開館時間:10時～16時 / 入館料:無料
関西大学博物館特別展示室(簡文館内)

2018年度

関西大学博物館実習展

11月11日(日)~11月16日(金)

開館時間: 10時~16時 / 入館料: 無料
関西大学博物館特別展示室(簡文館内)



HAKO —20世紀以降における文房具としてのハコ—

ハコは古くから私たちの暮らしを支え、時代の変化に合わせてその姿を多様に変えてきました。もちろん、私たちの身近にあるハコも同様の变化の只中にあるといえるでしょう。

そこで、私たちは数あるハコの中から文房具として使用されているハコに焦点を当て、展示を行うことにしました。これらのハコは、時代とともにどのように変化しているのでしょうか。ぜひ、足を運んでお確かめください。



食いだおれ —近世から現代へ—

「京の着だおれ、大阪の食いだおれ…」と言われるように、大阪は食道楽の街として知られています。そこで、私たちがまず思い浮かべるものは「くだおれ太郎」でしょう。道頓堀にある「中座くだおれビル」は大阪の観光名所としても有名です。

しかし、「食」が有名な街は日本全国いたるところにあります。その中でなぜ大阪に「食いだおれ」のイメージが定着したのでしょうか。

今回の展示では、近世から現代にかけての代表的な飲食店や史料を取り上げながら、その理由を探っていきます。



おそ 畏れの姿 —江戸時代の人々の視点—

皆さんは怖いものといえば、何を思い浮かべますか? 古来より、人は説明できない自然現象を怪異と恐れ、妖怪や鬼という呼称や姿を与えてきました。また魔除けや繁栄への祈りの目的で、妖怪は信仰の対象になることもありました。

人々の恐れへの認識は室町時代に入ると変化し、江戸時代に最も大きな転換期を迎えます。絵師たちの想像と創造の力により、妖怪や鬼は都市部の人々の間で、新たに娯楽の対象になったのです。

本展示では、そんな百妖繚乱時代の異形の姿を「蕪村妖怪絵巻」(復刻版、北田紫水文庫)などを通して紹介します。



茨木の潜伏キリシタン ~ザビエル像発見のエピソード~

歴史の教科書などで見かける『聖フランシスコ・ザビエル像』(神戸市立博物館蔵、重要文化財)が、実は大阪の茨木市で発見されたことをご存じですか。16~17世紀、キリシタン大名の高山右近(1552~1615)が支配した摂津国北東部(現茨木市北部)には、キリスト教を信仰する人々が住んでいました。江戸時代に禁教となるも、信仰遺物は密かに受け継がれ、その痕跡は地域に残されています。

当展示では、ザビエル像などの品々が収められていた「あけずの櫃」の発見時のエピソードを紹介し、茨木の潜伏キリシタンの実態を史料から紐解きます。

同時開催

特別展示 「能勢槻峯寺とその建立修行縁起」

「槻峯寺建立修行縁起絵巻」は、能勢剣尾山にあった同寺の建立縁起を描いた室町期の優れた絵巻です。国外に流出しましたが、大阪府能勢町の有志がデジタル技術で復元しました。緻密な筆致で、建立縁起や伽藍、烏天狗が岩山を飛び交う場面などを描いています。

本展では、復元絵巻を展示し、地域の遺跡保存と文化財の活用の取り組みを紹介します。



槻峯寺建立修行縁起絵巻



関西大学千里山キャンパス
阪急千里線「関大前」駅 徒歩10分

関西大学博物館

関西大学千里山キャンパス 簡文館内

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35

TEL : 06-6368-1171

http://www.kansai-u.ac.jp/Museum/

E-mail : hakubutsukan@ml.kandai.jp